

基本情報(配置要望書より)

1	隊員の活動エリア	小脇高倉地区全域(集落名:小脇、高倉)
2	地区が隊員に求めるもの	理想の隊員像は・・・ 本気の田舎暮らしに耐えられる忍耐力のある人
3	地区からのコメント	小脇高倉地区では、移住者を増やすため、集落資源を活かす取り組みをサポートしてくれる人材を必要としています。住民と協力しつつ、若い方の思い切った発想で集落活性化を図ってほしいです。
4	世話人	高橋登さん・マリコさん、齋木和作さん・スミ子さん、本間三春さん・美和子さん、齊木正幸さん、齊木利次さんの 8 人 ※世話人とは、地域との仲立ち役として、地区内のことについて相談に乗る人のこと

活動内容(配置要望書より)

1	全隊員共通の活動	<p>地区との関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道普請のほか、各種集落活動や行事に参加すること ・地区の活動を支援するなかで、地区への理解を深めること ・地区で何か困りごとがあれば、親身になって相談に乗り、可能であれば支援すること 				
	担当地区ごとの活動	<p>地区の活動支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標(地区の将来像)</th> <th>今、協力隊がやるべきこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 集落資源を活かし、 外部から移住者が入って きやすい環境を整える</p> </td> <td> <p>□地域資源の聞き取り調査・確認 稲作(田んぼのほか、山間地での営農技術など) 豆類などの固有品種 山菜、湧き水などの里山の資源 など</p> </td> </tr> </tbody> </table>	目標(地区の将来像)	今、協力隊がやるべきこと	<p>1 集落資源を活かし、 外部から移住者が入って きやすい環境を整える</p>	<p>□地域資源の聞き取り調査・確認 稲作(田んぼのほか、山間地での営農技術など) 豆類などの固有品種 山菜、湧き水などの里山の資源 など</p>
目標(地区の将来像)	今、協力隊がやるべきこと					
<p>1 集落資源を活かし、 外部から移住者が入って きやすい環境を整える</p>	<p>□地域資源の聞き取り調査・確認 稲作(田んぼのほか、山間地での営農技術など) 豆類などの固有品種 山菜、湧き水などの里山の資源 など</p>					

		<p>※昭和 30 年代には、450 人前後が居住しており、そのくらいの人口を支えられる資源がある見込み</p> <p><input type="checkbox"/>地域資源を活かした取組の提案 固定品種の生産販売とブランド化 地域資源の特産品化及びその販路拡大 山菜の商品化 など</p>
	2 移住者を増やす	<p><input type="checkbox"/>地域情報の都市部への発信</p> <p>集落を出た住民や田舎への移住希望のある若者に Facebook・HP・SNS で地域の情報を発信</p>
	3 若者の力で集落を活性化する	<p><input type="checkbox"/>集落の存続に向けて、協力して方策を考え、一緒に取り組む 特に若者の意見を取り入れたい</p> <p><input type="checkbox"/>農地の耕作放棄地化の防止 農業のほか、保全活動(花を植えたり)も想定</p> <p>※地区は、隊員にも農作業をしてほしいと望んでいます</p> <p><input type="checkbox"/>高齢者住宅見守り 小脇:3 人、高倉:4 人/訪問、除雪支援など</p>
3 定住に向けての活動	<p>スキルアップ 地区で暮らすための技術の習得(豪雪地での暮らし方、山間地での暮らし方、営農技術)</p>	

4	任期満了後の展望	<p>【生業について】</p> <p>活動の3年目は、それまでの活動を継続しつつ、任期後の就農や起業を考え、そちらにもウエイトを置いて活動してほしいです。</p> <p>【地区からのコメント】</p> <p>就農については、地区を挙げて協力します。</p>
---	----------	--